

北方学園構想

～基本計画～



令和元年 6月
北方町

目次

はじめに	ページ
1 学校体制	3
2 教育方針	15
3 施設	22
4 財政計画	33
5 工事計画	38
6 今後の進め方	41



はじめに

現在、北方町の各学校において、子どもたちは全体的に落ち着いて学習に取り組んでいます。しかし、一人ひとりの子どもに目を向けると、不登校に悩む子どもや思うように学力が伸びない子どもがいると聞いています。子どもたちの将来を考えると、町として、より魅力ある学校づくりを進め、どの子にもたくましく生きる力を身に付けることは、極めて大切なことだと思います。

一方、学校施設に目を向けると、少子化が進み、空き教室が目立つ現在の小学校3校と中学校1校を、修繕しながら維持していくことは、財政的にも困難です。さらに、老朽化が進む校舎もあり、安全で快適な学習環境の確保とともに、施設運営の効率化を図る必要にも迫られています。

このような現状から、単なる学校の統廃合ではなく、子ども一人ひとりの力を十分に伸ばすことのできる学習環境を整え、魅力ある教育を推進していくことが、北方町にとって重要であり、今がそれをすべき時だと考えました。そのため、北方学園構想を考案し、平成30年度には、学校構想検討委員会で、この構想に対して多様な視点からご検討をいただき、今年3月に意見書として受け取りました。

今回、その意見書や町民のみなさんの意見などをもとに、町としての方針や財政状況などを勘案し、基本計画としてまとめました。今後は、だれもが安心して学び合える魅力ある学校をめざし、開校準備を進めていきたいと考えます。

令和元年6月

北方町長 戸部 哲哉

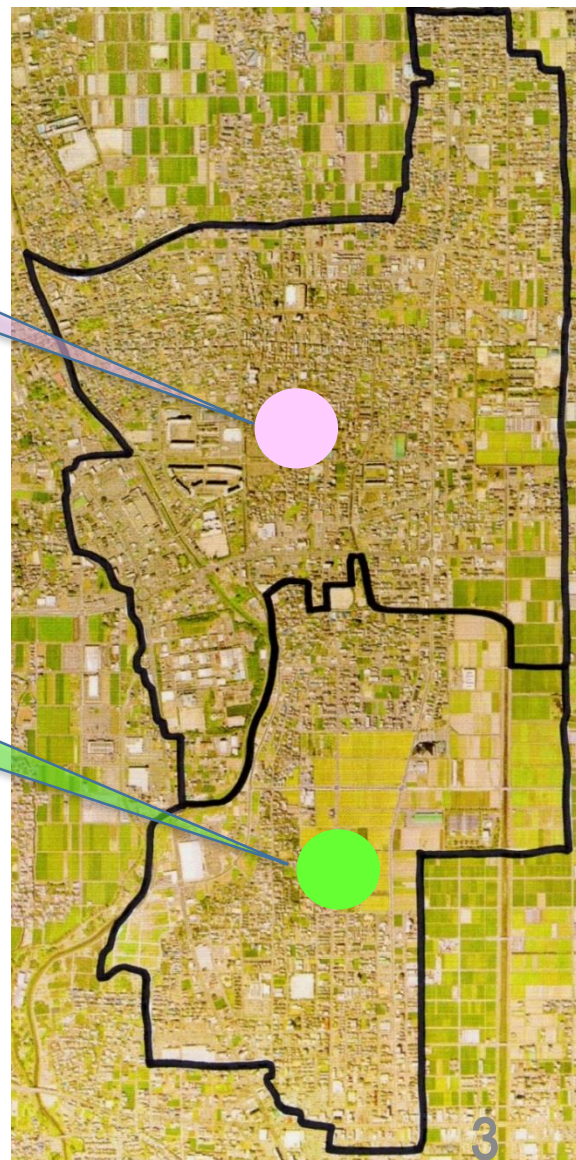
学校体制

【基本方針】

- 令和5年4月に、北方小学校、北方西小学校、北方南小学校、北方中学校の4校を、義務教育学校2校（仮称）北学園、南学園に再編する。
- 校区については、現北方小学校と北方西小学校の校区を北学園区、現北方南小学校校区を南学園区とする。
- 学校の位置は、現北方小学校と北方中学校の位置に北学園、現北方南小学校の位置に南学園を設置する。

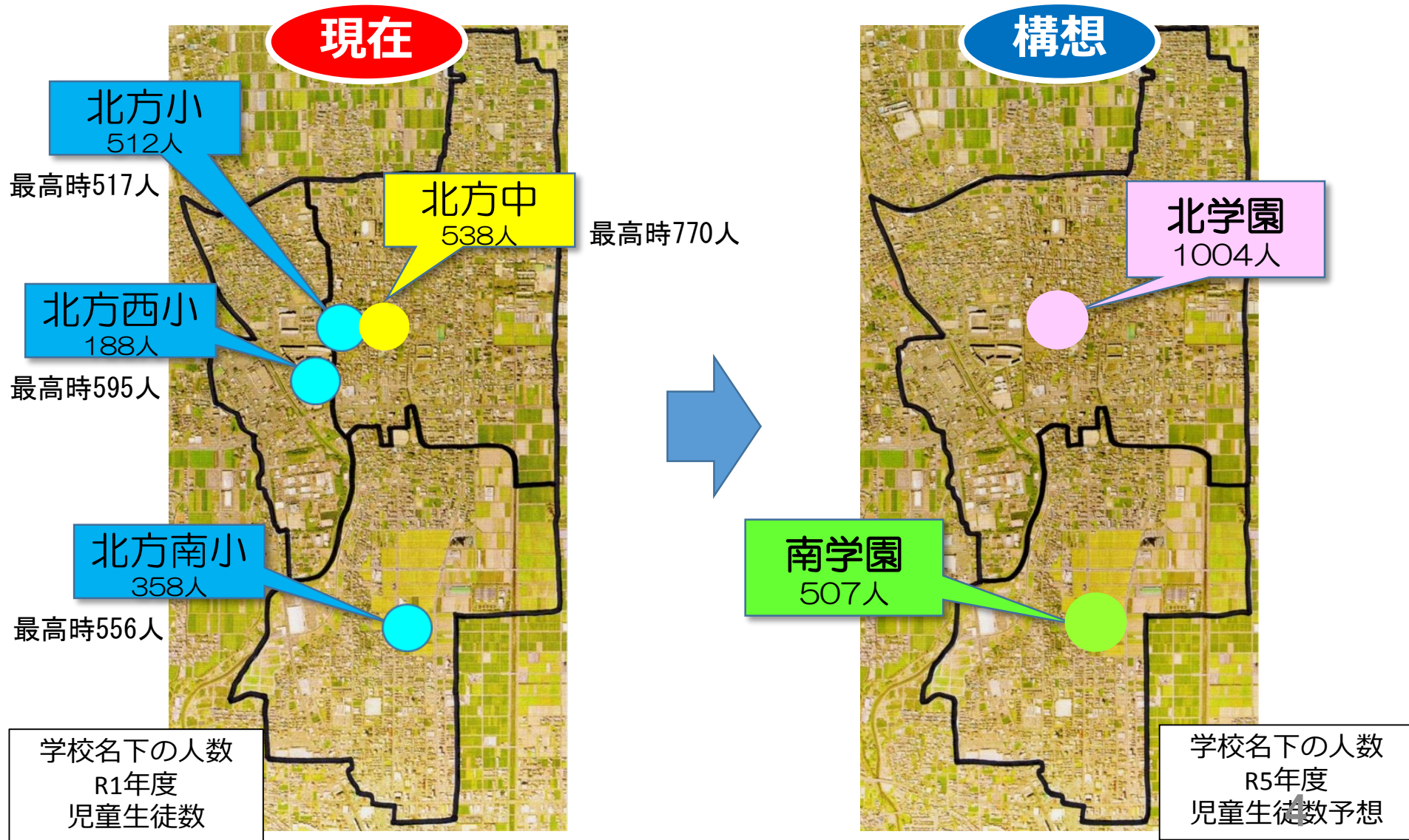
（仮称）北学園
義務教育学校

（仮称）南学園
義務教育学校



学校体制

【現体制との比較】 4校→2校



学校体制

【理由1】意見書から

学校構想検討委員会の意見書には、下記の記述があります。

[検討委員会としての意見]

小中一貫教育に前向きに取り組む義務教育学校2校体制への再編については、9年間を通して子どもたちへの理解を深め、長期的な視野で能力を伸ばしていくことができ、学力向上や生徒指導体制の強化の観点から成果が期待できる。

この特色ある教育の推進は、北方町の魅力づくりにもつながる。

さらに、今後、修繕を続けながら4校を維持管理していくことを考えると、2校に集約することは、学校運営の効率化となり、推進していくべき構想である。

義務教育学校2校体制にすることによる利点として、次の3点が示されており、これらの視点からの成果が期待できます。

- 1 教育力の向上（学力向上や生徒指導体制の強化）
- 2 北方町の魅力づくり
- 3 学校運営の効率化

学校体制

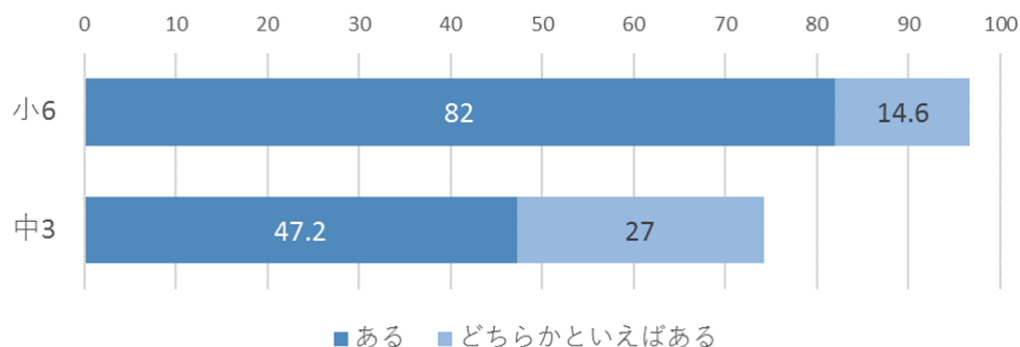
【理由2】学力向上の観点から

学習に対する意欲については、全国的な傾向と同様に、北方町においても中学生になると低下する傾向が見られます。このことは、学年が進むにつれて、学習内容が専門的になり、難しくなるという理由も考えられますが、一方で学習内容が専門的になればより興味がわき、学習意欲が増すという側面もあります。学習意欲が中学校進学で顕著に低下する要因については、様々考えられますが、指導体制が小中学校間で途切れてしまうことも、その1つだと考えられます。

こうした要因に対して、義務教育学校では中学校教員が小学校高学年で授業を行うなど、教科担任制の導入を組織的に進めることができます。教科担任制の導入は、単に教科の専門性の高い授業を行うという利点だけでなく、9年間を見通した一貫教育を実施することにより、学習内容に対する理解をより深めることができるなどの効果が期待されます。

好きな授業はあるか（北方町）

H29.4
全国学力学習状況調査より



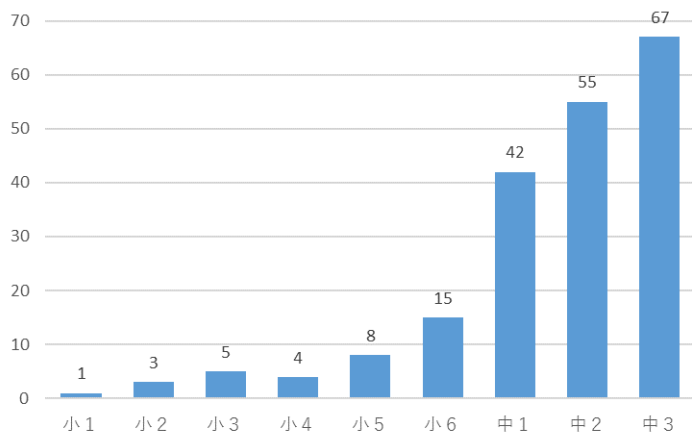
学校体制

【理由3】生徒指導の観点から

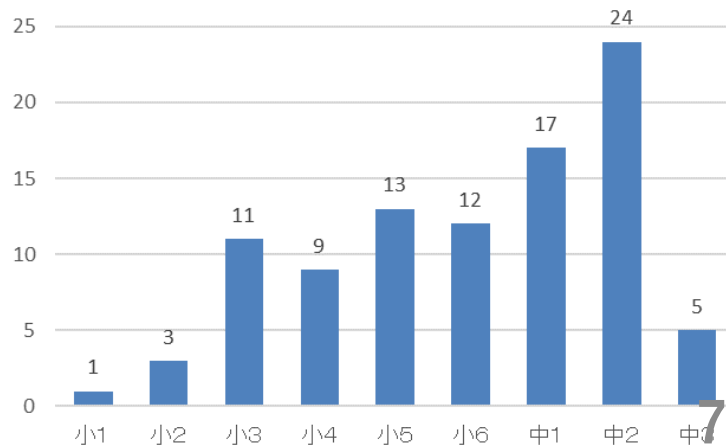
北方町でも全国的な傾向と同様に、中学校進学時に不登校やいじめが増える傾向が見られます。特に、不登校は中1で急増しています。また、いじめは小3から小6までは、ほぼ横ばいですが、中1で増加しています。どちらも早期に適切な対応をとることが重要です。

義務教育学校では、より多くの教員の目で、9年間切れ目なく子どもを見守ることができるため、子どもの変化などに気付きやすくなり、問題の早期発見につながることができます。また、子ども同士の関係性やそれぞれの子どもの個性をよく知っている先生が、中学校に進学しても身近にいるため、子どもたちも安心感を持つことができます。

H25-30 不登校人数（北方町）



H25-30 いじめ認知件数（北方町）



学校体制

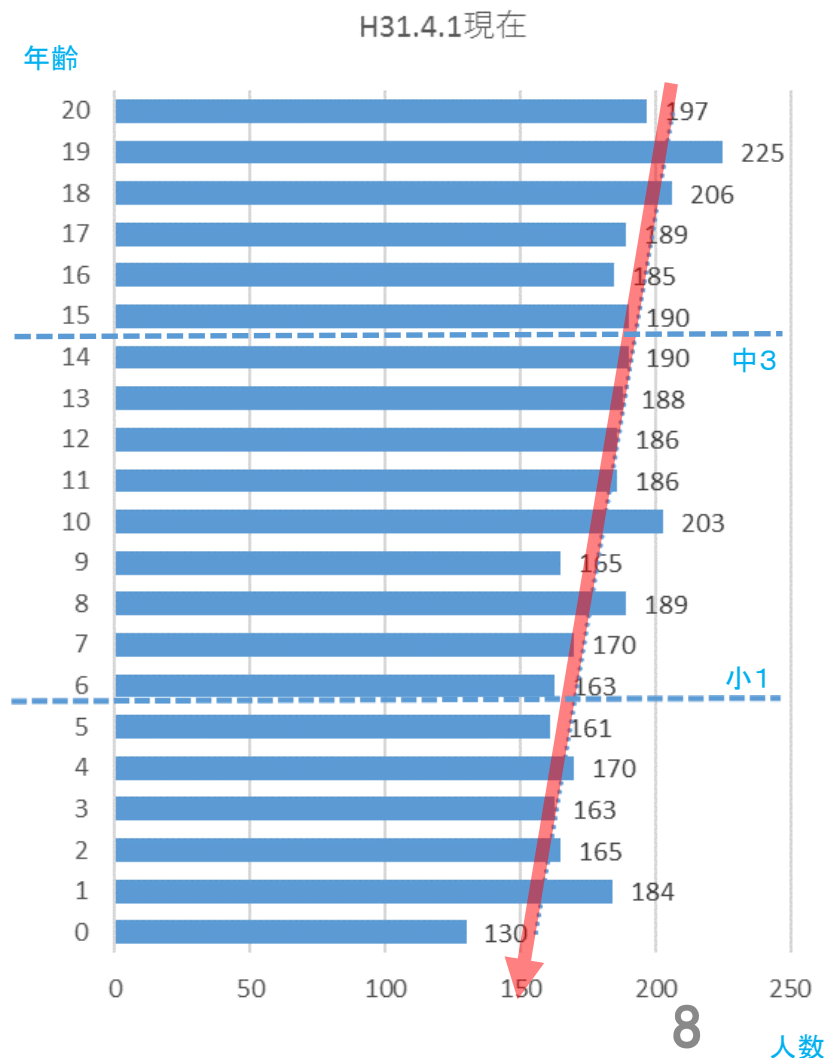
【理由4】施設運営の効率化から

北方町の学校施設は、建設後30～40年以上が経過しているものもあり、今後も各施設を継続して使用するためには相応の老朽化対策が必要です。具体的な例では、老朽化に伴う北小校舎の水漏れや外壁の剥離、西小体育館の床面剥がれなどがあげられます。

しかし、全国的に少子化傾向にある中、今後、北方町の子ども的人数も徐々に減少していくことが予想されるため、単に今の施設体制を維持することは効率的ではなく、財政的にも大きな負担となります。

今後も緩やかな子ども的人数の減少が見込まれる現状では、学校施設の合理化は避けては通れない課題となっています。

児童生徒数の推移（北方町）



学校体制

【理由5】地域コミュニティの視点から

各学校は、地域コミュニティの核として、地域に愛される学校となることが大切です。

そのためには、コミュニティスクールとしての取組を今後もますます推進していくことや、地域、家庭、学校とのよりよい連携の在り方を検討していく必要があります。

また、北学園と南学園では地域を取り巻く環境も異なるため、それぞれの地域の特色を生かした学校運営の在り方を模索していくことが大切です。

今後、多くの人々と連携を図りながら、地域全体で責任をもって子どもたちを育てていくためには、義務教育学校2校体制が望ましいと考えられます。

北方コミュニティ学園の活動目標



学校体制

【理由6】北方町の課題から

北方町の学校教育に関する課題として、次のことが挙げられます。

- ・ **西小の学年単学級化**（6年間クラス替えができない状況です。）
- ・ **中学校の教員の異動**（町内に中学校が1校しかないため、町内勤務を続けたい優秀な教員も、短期間で他の市町村への異動が余儀なくされます。）
- ・ **通学距離の長さ**（南小校区の中学生の通学距離が長く、安全面での不安があります。）
- ・ **中学校におけるコミュニティスクールの推進**
（中学生も地域と学校が協働して育てることは大切だが、小学校の仕組みと重なるため、推進しにくい状況にあります。）
- ・ **中学校の活性化**（中学校間で交流し、高まり合う関係が築きにくい環境です。）



北方学園構想の学校体制では、これらの課題の解決や改善が見込まれます。

学校体制

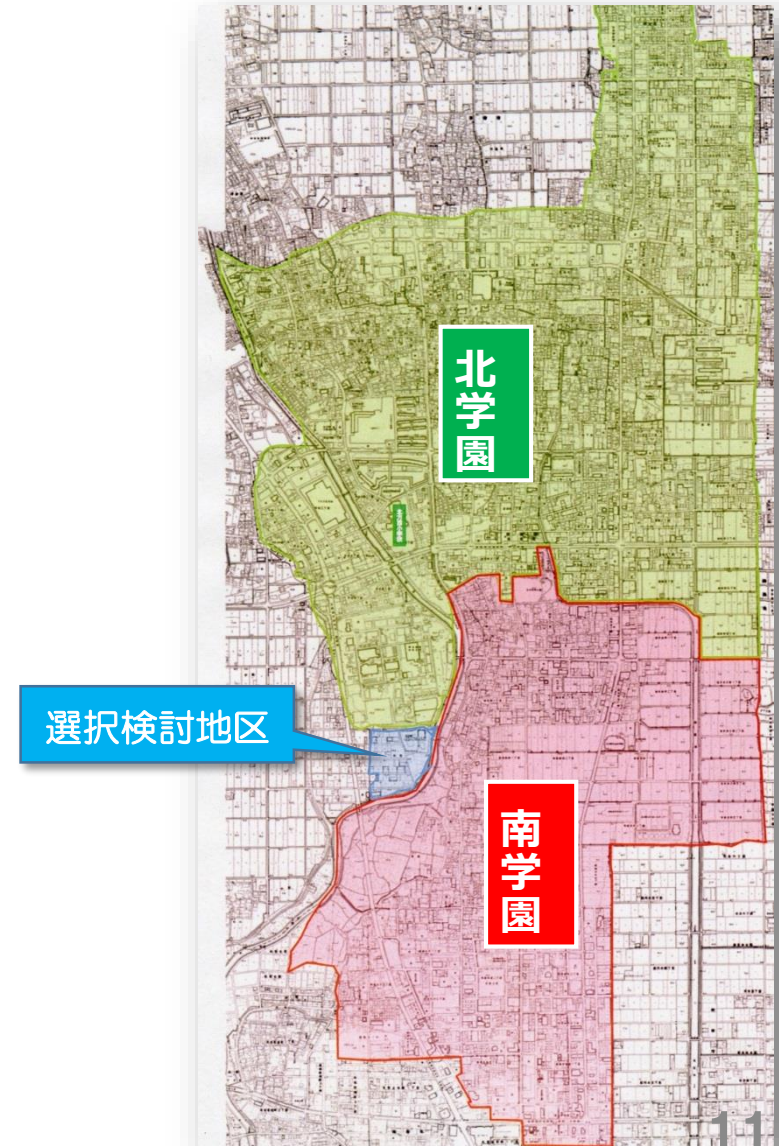
【校区について】

北学園と南学園の児童生徒数が同数程度になることが望ましいと思われませんが、機械的に人数を揃えるより、地域との関わりやこれまでの学校の伝統を引き継いで学園区を考えていくことが大切であると考えます。

さらに、実際の開校にあたっては、北学園と南学園の施設の規模のことを勘案する必要があります。

以上を総合的に勘案するとともに、学校構想検討委員会の意見を尊重し、現在の北方小学校区と北方西小学校区を北学園区、北方南小学校区を南学園区とします。

ただし、通学距離や交通安全上のこと、また、開校時の中3の生徒の思いも考慮し、選択のできる区域等を設けることも検討します。



学校体制

【中学校が分かれることについて】

北方学園構想では、義務教育学校2校体制になります。義務教育学校では、これまでの小中学校の仕組みとは違って、9学年の児童生徒がいっしょに学校生活を送ることになります。そのため、中学生はみんな学校のリーダー的存在になります。このことから、全国の先進校では、中学生の生活が落ち着き、態度が優しくなったということがあげられています。

その他にも、北方町で義務教育学校2校体制にした時のよさとして、次のことが期待されます。

- ・よきライバル関係を築くことにより、互いに高まり合うことができる。
- ・生徒一人ひとりの活躍の場が増える。
- ・通学距離が短くなり、交通安全、防犯上の視点からの安全性が高まる。
- ・教職員数の増加が見込まれることにより、生徒一人ひとりに目が行き届く。
- ・友達関係などでどうしても登校できなくなった時、町内で転校できる。
- ・中学校教員の町内転勤が可能となり、優秀な教員が継続して町内勤務できる。

以上のようなよさもありますが、「開校時の中2、中3が仲間と別れること」「部活動の運営」等、課題も想定されます。それらについては、解決や緩和などができるよう丁寧に進めていきます。

学校体制

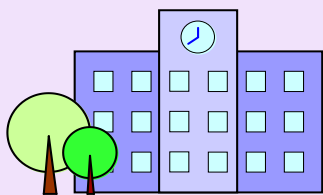
【2校の関係について】

共通の理念をもち、交流や合同活動等を通して、高まり合う関係を築きます。

北方学園（たくましい北方の子の育成）

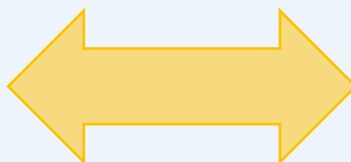
北学園

北方小学校区
北方西小学校区



地域コミュニティの核となる学園

高まり合う関係



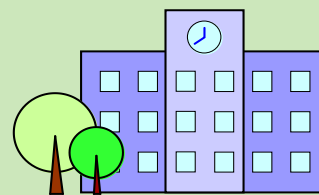
交流・連帯感

合同活動

- ・部活動
- ・体育大会
- ・合唱集会
- ・進路学習 等

南学園

北方南小学校区



地域コミュニティの核となる学園

北方コミュニティ学園事業の推進

幼保との連携

町立保育園・こども園・敬愛学園

高校・大学との連携

岐阜農林高校・岐阜大学・岐阜聖徳学園大学

学校体制

【配慮事項】

北方学園構想の推進にあたっては、新たな体制に対して配慮すべき面も考えられます。

次のような内容については、慎重に検討し、子どもたちにとってよい結果がえられるようにします。

- ・ 開校時の中3の学習や生活環境の変化による進学への影響
- ・ 義務教育学校2校体制となることによる新たな部活動の在り方
- ・ 9年間同じメンバーで学校生活を送る中でのいじめへの対応
- ・ 小学校6年生のこれまでのようなリーダーとしての活躍の場の保障
- ・ 高校進学時の大きな環境変化に対する対応
- ・ 校名、校歌、校章、制服、鞆、体操服などの制定
- ・ 9学年の子どもたちがいっしょに生活することによる安全面の確保
- ・ 運動会、卒業式など、学校行事の持ち方
- ・ 日々の日課、チャイムの設定
- ・ P T A活動、学校運営協議会、コミュニティスクールとしての仕組み
- ・ 特に開校前後等の教職員の多忙化の解消
- ・ 登校時、緊急時、送迎時等の安全な導線の確保

教育方針

【基本理念】

「だれもが安心して学び合える学園」

【設定理由】

学校構想検討委員会の意見書には、下記の記述があります。

〔検討委員会としての意見〕

北学園と南学園は、公立の義務教育を行う学校であることから、最も大切なことは、だれもが安心して学び合える学園にすることである。9年間安心して学び合える環境の中で、一人ひとりの能力を十分に伸ばすことを柱にすべきである。また、義務教育学校のよさを生かし、教科担任制の拡充や異学年交流の充実などを図り、「安全・安心」「深い学び」「誇り・自信」をキーワードに、9年間を通して「たくましい北方の子」を育てていくことをめざしていくべきである。

上記の意見を尊重するとともに、小中の教員がともに協働して指導する義務教育学校のよさを生かし、だれもが楽しく安心して学び合える学園をめざします。

教育方針

【教育方針の全体像】

北方学園の教育方針

【基本理念】

だれもが安心して学び合える学園

深い学び

学習意欲の向上

- 教科担任制の拡充
・専門性の高い授業の実施
- 小中一貫した学習計画の実施
・先取りと学び直しの効果的な設定
- ICTの活用
・興味・関心を高める教材提示

主体的な姿勢

安心・安全

落ち着いた生活

- 9年間を通した児童生徒理解
・安心して学び合える集団づくり
- 異学年交流の充実
・多様な交流による豊かな心の育成
- 家庭や地域と共に育む取組
・コミュニティ学園の活動推進

共に生きる姿勢

自信・誇り

特色ある教育

- 英語教育の充実
・コミュニケーション能力の向上
- 平和・ふるさと学習の推進
・9年間の系統的な学習の実施
- 学校間、校種間の交流
・視野を広め、自ら高まる姿勢づくり

やり抜く姿勢

9年間を通して、「たくましい北方の子」を育む

教育方針

【安全・安心】

□ 落ち着いた学校生活を送れるようにする。

・ 9年間を通した児童生徒理解

一人ひとりの児童生徒の様子について、9年間を通して切れ目なく理解を深め、個のよさを伸ばすことによって、互いに認め合い安心して学び合える集団づくりをしていきます。また、生活の規則などについて、9年間を通して整合性を図ることによって、安心して学校生活を送れるようにします。

・ 異学年交流の充実

中学校時代の生徒が、低学年の児童と触れ合うことで、心の安定や思いやりの心が育つことが期待できます。義務教育学校になることで、様々な形態の異学年交流が可能となることから、各発達段階に応じて豊かな心の育つ交流活動などを計画的に設定します。

・ 家庭や地域と共に育む取組

現在進めているコミュニティ学園の取組を推進し、地域、家庭、学校が共通の目標を持つとともに、それぞれの役割を果たし、学園運営に参加することで、安心・安全な教育環境づくりを推進します。

教育方針

【深い学び】

□魅力ある授業を行い、学習意欲の向上を図る。

・教科担任制の拡充

5年生から図工や音楽などを中心に、徐々に教科担任制を導入し、子どもたちの学習意欲の向上を図ります。その際、教員の配置によって、毎年実施教科が変わることがないように、計画的、安定的に指導体制を整えます。

・小中一貫した学習計画の実施

先取りや学び直しを位置づけ、確実に学習内容を身に付けられるようにします。また、学習内容の系統性を踏まえた指導により、学習に対する関心を高め、理解が深まるようにします。

・ICTの活用

学習内容に対する興味・関心を高め、理解を深める教材提示をするとともに、ICTの活用により、プログラミング的思考、情報活用能力を育成します。また、タブレット等の活用により、個に応じた指導の充実を図ります。

教育方針

【誇り・自信】

□北方町として特色ある教育を推進する。

・ 英語教育の充実

英語教育の充実を特色ある教育の1つに掲げ、主体的に英語に親しむ姿勢を育てるなど、英語に自信がもてるようにします。また、小学校段階からの先取り学習や外部人材の活用等により、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。

・ 平和・ふるさと学習の推進

現在、北方町で進めている平和学習について、9年間の系統的なカリキュラムを作成し充実を図ります。また、地域行事に積極的に参加している児童生徒のよさを生かし、地域を担う資質を育てるふるさと学習を計画的に設定します。

・ 学校間・校種間の交流

町内で義務教育学校2校体制になるよさを生かして、高め合ったり、協力し合ったりする関係を築いていくために、共同活動、発表会や競技大会などの設定を工夫します。また、幼稚園や保育園、高等学校や大学との連携を進め、キャリア教育を推進します。

教育方針

【部活動について】

部活動の在り方については、現在、教員の働き方改革や子どもの生活バランスなどの観点から、時代に即した部活動の在り方についての検討が求められています。国や県からも指針が出され、北方町に適した望ましい部活動の仕組みについて考えなくてはならない時期にきています。

そのような中で、北方町では、学校の再編を機に、部活動に関し、次の2つの活動の充実をめざす仕組みを検討します。

1. 学校の教育活動として、スポーツ等に親しむ姿勢づくりとしての活動
2. 地域における社会活動として、競技力アップをめざす活動

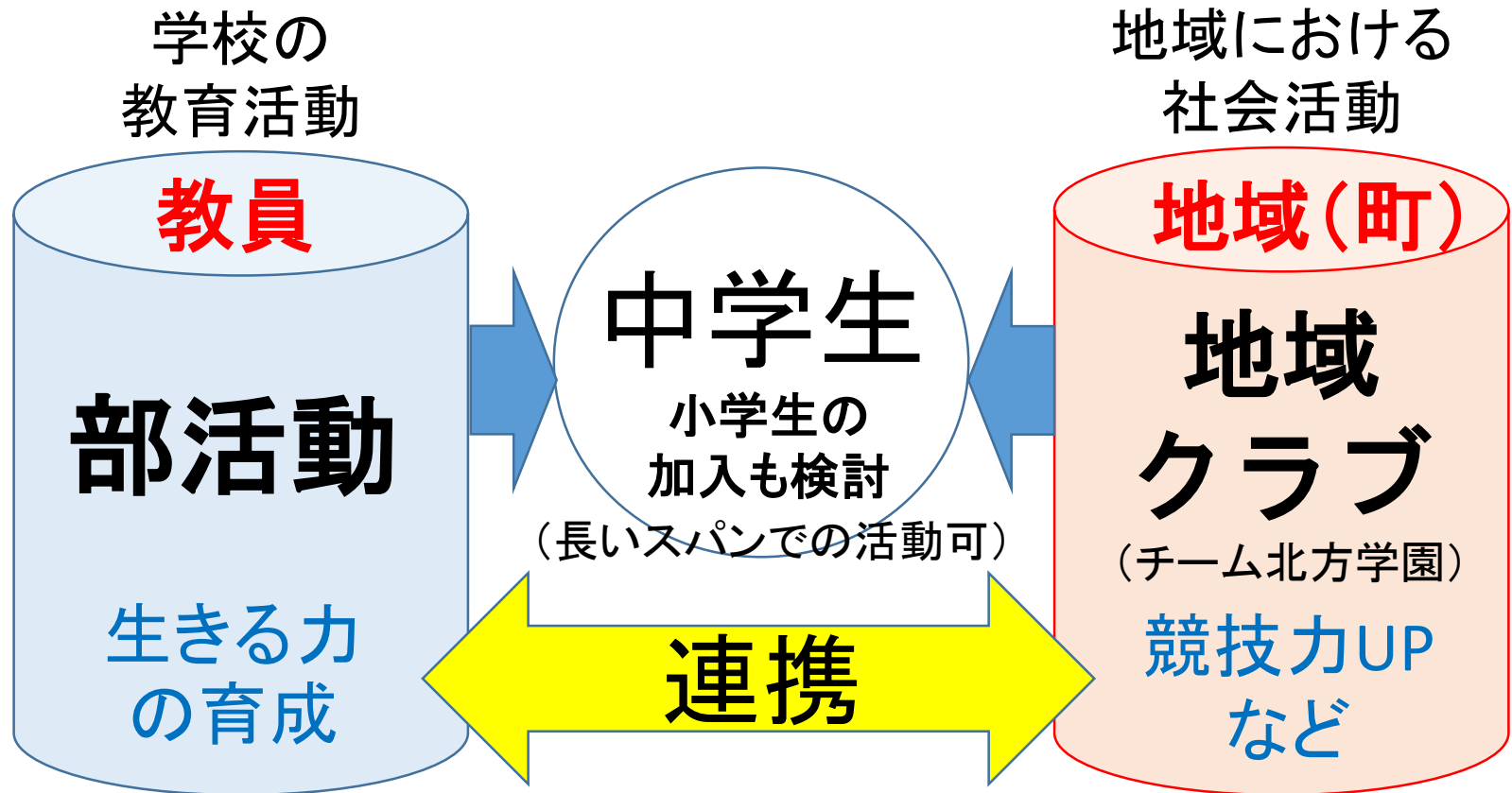
学校の教育活動としての部活動については、北学園と南学園のそれぞれの場所で、下校までの時間、教員が中心となり、一人ひとりの運動量の確保、仲間と共に活動する大切さなどを学びます。

一方、地域における社会活動として行う競技スポーツについては、帰宅後や休日に、部活動指導員や専門コーチが中心となり、競技力アップを目指します。また、専門コーチには、競技力のある義務教育学校の教員の主体的な登録も想定しています。

このような仕組みについて、今後、検討部会を立ち上げ、検討していきます。

教育方針

【部活動に仕組みについて】



・部活動指導員等の配置

・教員の主体的参加
・スポーツ少年団との連携

施設

【基本方針】

北方学園構想では、財政効率を勘案してなるべく既存の施設を活用しながら義務教育学校2校体制を整備することを基本とします。具体的な整備にあたっては、次に掲げる基本的な考え方をもとに、よりよい学校づくりを目指します。

1. 安心安全に配慮した施設とする

- ・校舎等、各建築物の安全性を再確認し、必要な補修等を行う。
- ・通学、緊急時の避難等に関わる導線を明確にし、安全確保に努める。
- ・老朽化した給食調理場を北学園学校敷に移転、新築する。

2. 小中学校の一体的運営を可能とする施設環境を整備する。

- ・校舎は一体性を確保しながら、学年に応じた環境を整備する。
- ・職員室など校務に関わる管理部門を集約し、教職員間の連携強化を図る。

3. 教育的課題に応じた学習環境を整備する。

- ・ICT教育、少人数指導の充実を図るための環境を整備する。
- ・特別支援教育など、個に応じた指導のための環境を整備する。
- ・英語教育、ふるさと学習など、特色ある教育に対応できる設備を整える。

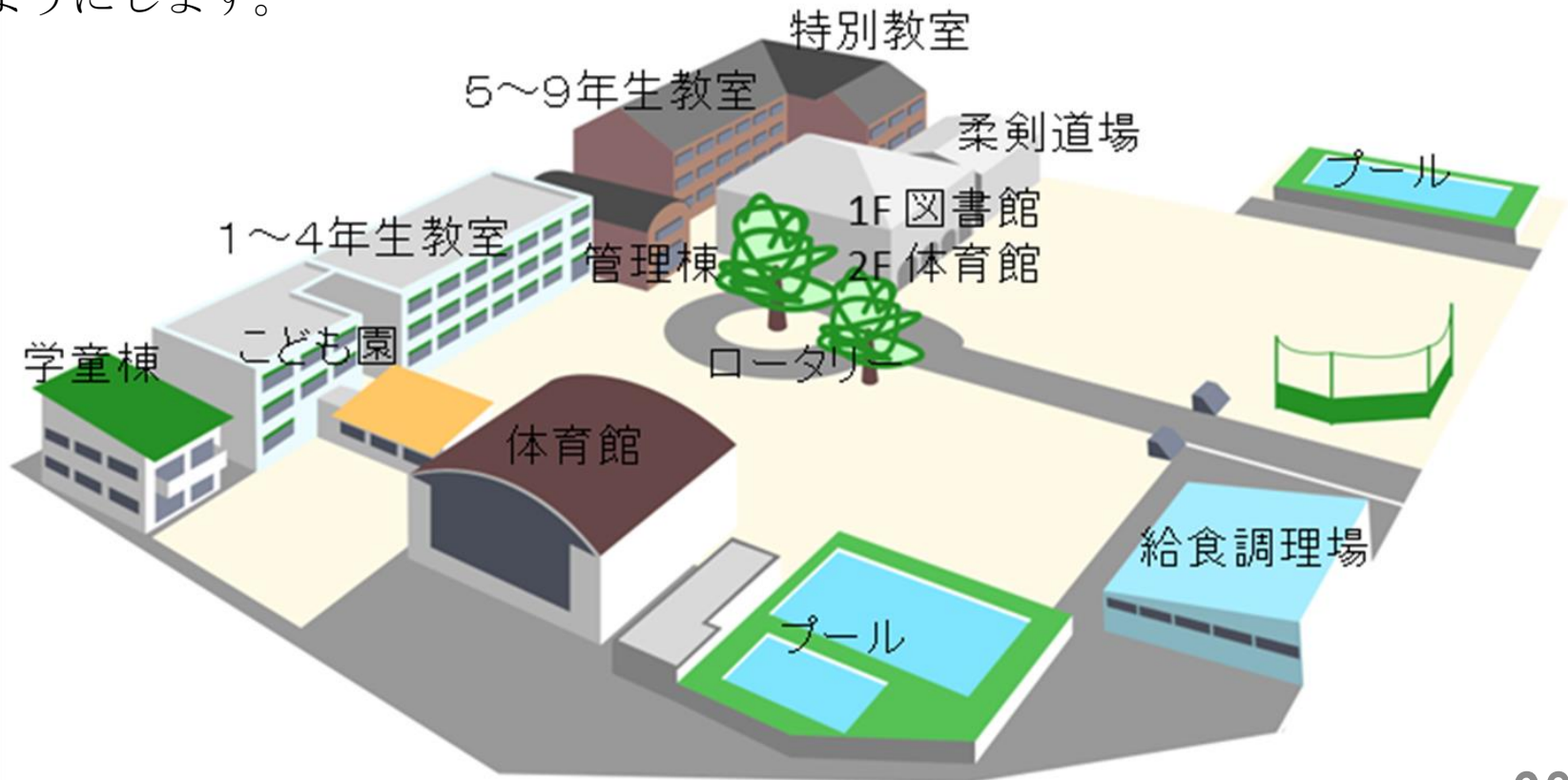
4. 地域と学校の協働関係を円滑に保てる施設環境とする。

- ・運動施設など、学校施設の地域利用が可能な計画とする。
- ・地域コミュニティの核となるような学校施設整備を心がける。

施設

【北学園】

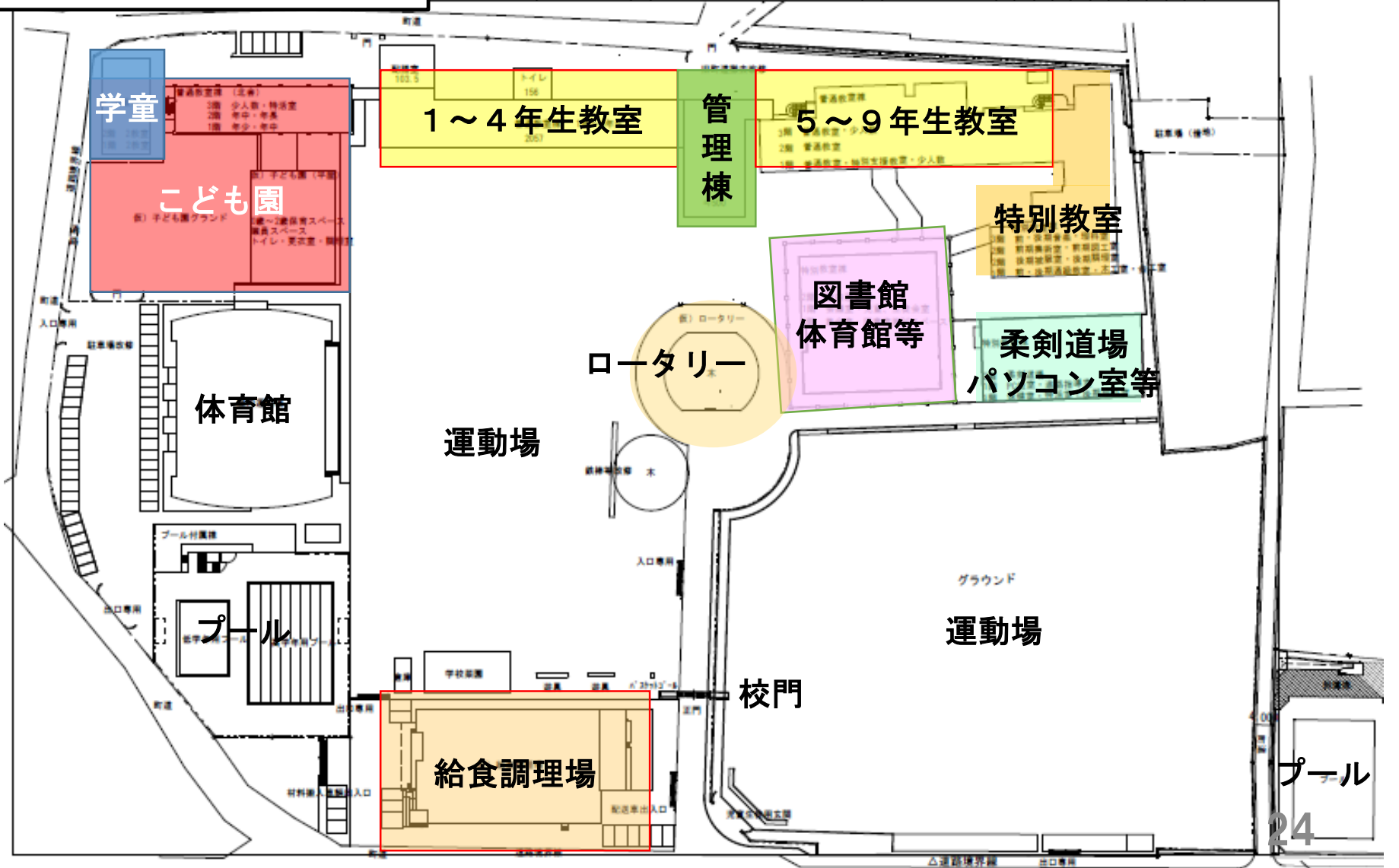
子どもたちが日々安全に学校生活を送ることができることを最優先に、教育に必要な施設・設備は確実に整えます。北学園に関しては、現在の北小と北中の間に管理棟を建築し、義務教育学校のみである小中の教員の協働が確実にできるようにします。



施設

【北学園平面図】

施設の配置図	縮尺 1/1000	校名 (仮称)北学園	児童数	普通学級(市町村)	(学 級)	施設数
			21	4	2	1



施設

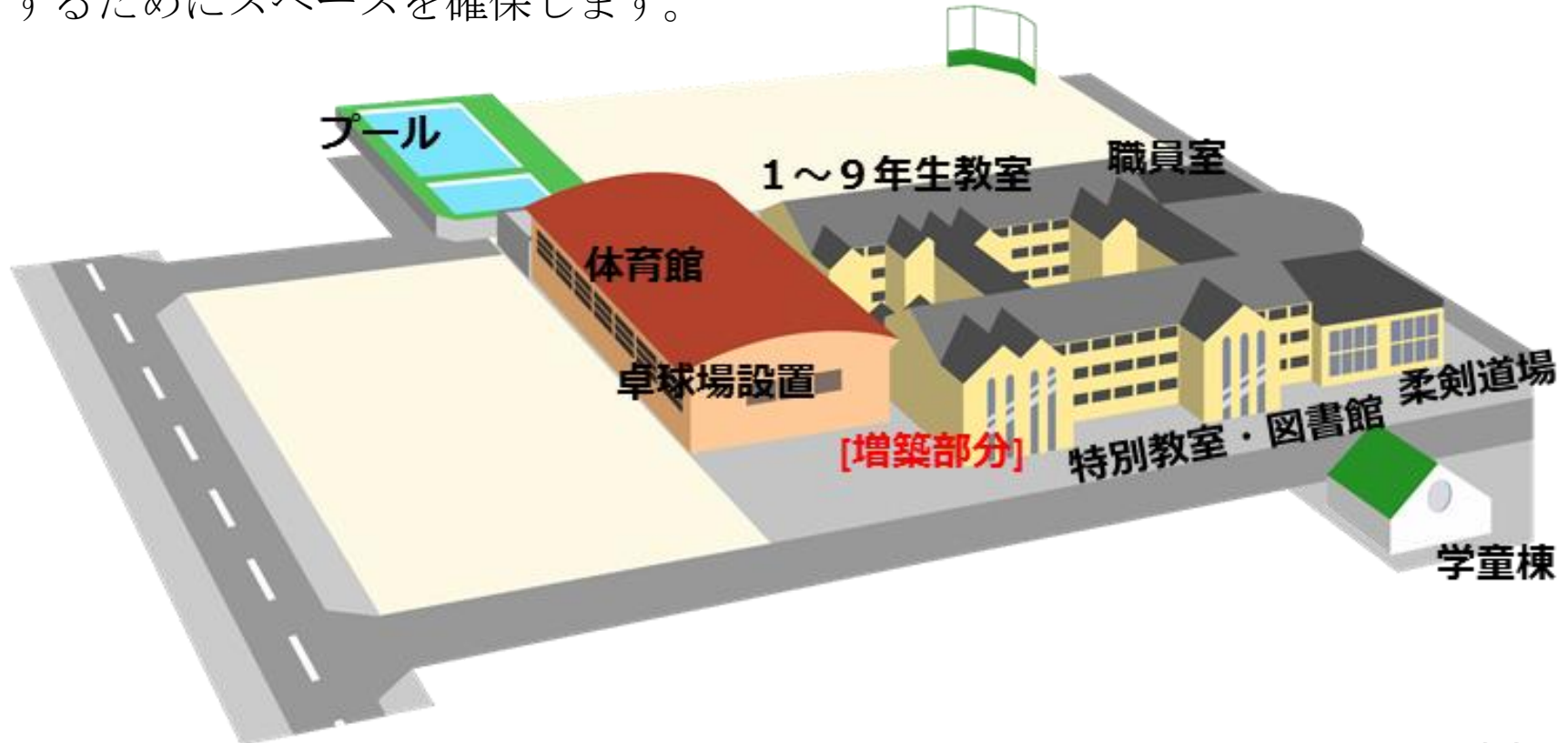
【北学園】

- ・ 小学校と中学校の教員の緊密な連携を図るために、職員室は1箇所にとりまとめ学園の中央に管理棟として配置します。
- ・ 学童保育棟は北西に新築し、学校の校舎とは分離します。
- ・ 給食調理場は小学校運動場南に新築します。安全面に配慮し、食材の搬入経路と給食の搬出経路が子どもたちの導線と交わらないようにします。
- ・ 現在の北方小学校管理棟を建て替えてこども園の管理棟兼保育室を建設するとともに、独立した園庭のスペースも確保します。また北舎を園舎として改築します。
- ・ 児童生徒の安全（交通安全・不審者対策）のため、また、学園としての一体的な学校運営を図るために中央の町道は廃止します。
- ・ 学校の中心にあるクスノキは残し、その周りをロータリーとして整備します。
- ・ 現在の北小の東舎は建て替え、管理棟も一体化して建設します。
- ・ 現在の北方中学校の管理棟の1階は図書館として整備します。
- ・ 学校の正門は南側に配置します。また、管理棟の北側には北門を設置します。
- ・ 学校の西側の門はこども園の送迎用、体育館利用者用とします。
- ・ 学校の北側に学童保育利用者用の駐車場及び出入口を設置します。
- ・ 非常時の避難等に車輛のスムーズな入出を図るため、入車はロータリー部分のみとし、出車は旧北方小グラウンドには給食調理場の西側、旧北方中グラウンドには部活動棟の南側に新たに専用出口を設けます。

施設

【南学園】

子どもたちが日々安全に学校生活を送ることができることを最優先に、教育に必要な施設・設備は確実に整えます。南学園に関しては、中学校教育に必要な特別教室等を増築するとともに、子どもたちの体育的な活動が十分にできるようにするためにスペースを確保します。



施設

【南学園】

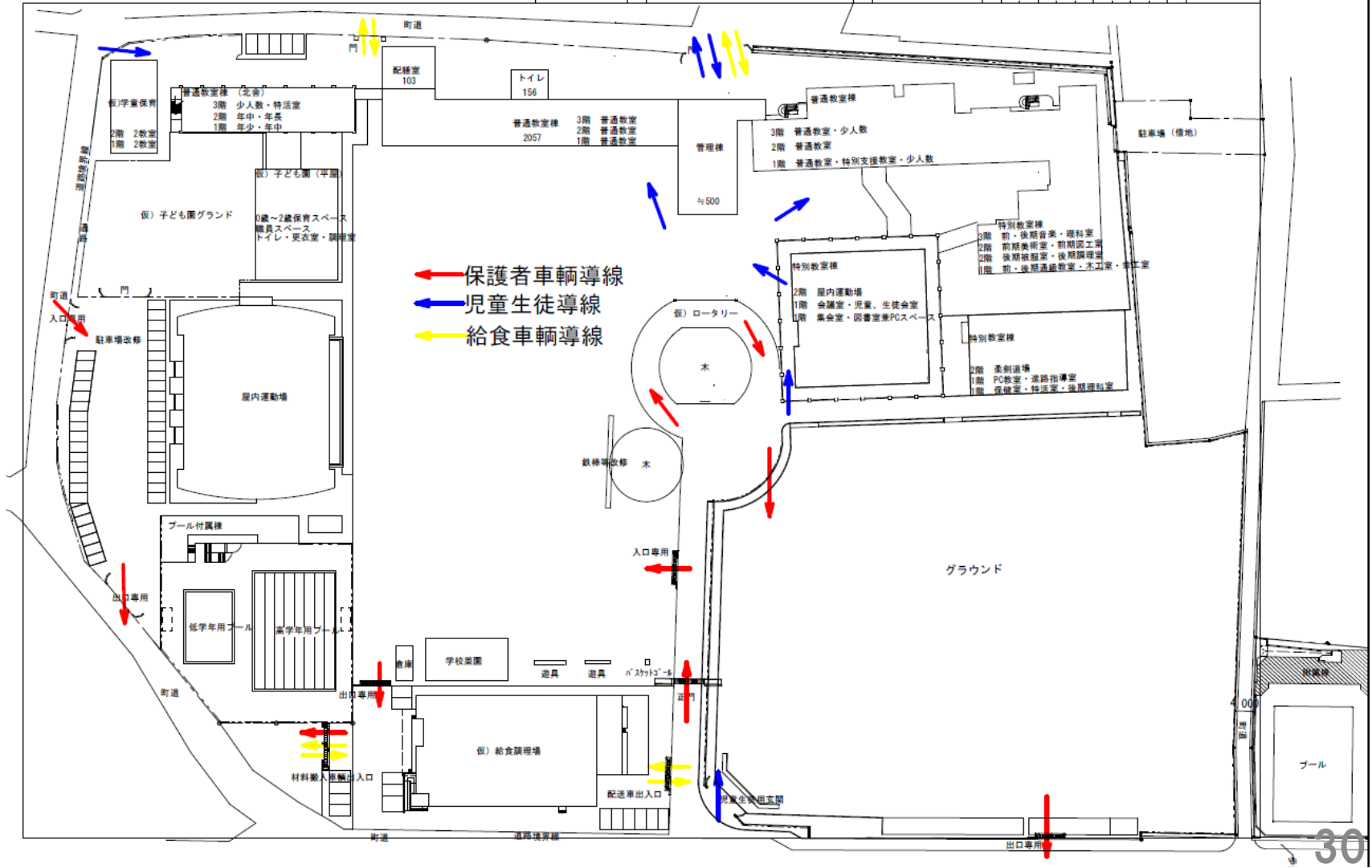
- ・ 中学校の教育課程を履修するための施設・設備を整えます。
- ・ 北舎の東に特別教室棟を増築します。
- ・ 多目的スペースを柔剣道場に改築します。
- ・ 体育館の2階（現在は学童保育室）は、部活動に対応するため卓球場に改築します。
- ・ 学童保育棟は北側に配置し、みなみこども館と連携して活用ができるようにします。
- ・ 教員の増加に対応するため、職員室を増築します。
- ・ 学校敷地を拡張します。拡張した敷地には、既存の運動場とは別の運動場を整備します。また、増加する教員数を見込んだ駐車場の確保するとともに、テニスコートなど部活動ができるスペースの確保を図ります。
- ・ 非常時の避難等にスムーズな車輛の入出を図るため、入車は既存の北側入り口のみとし、出車はグラウンドの南側に新たに専用出口を設けます。



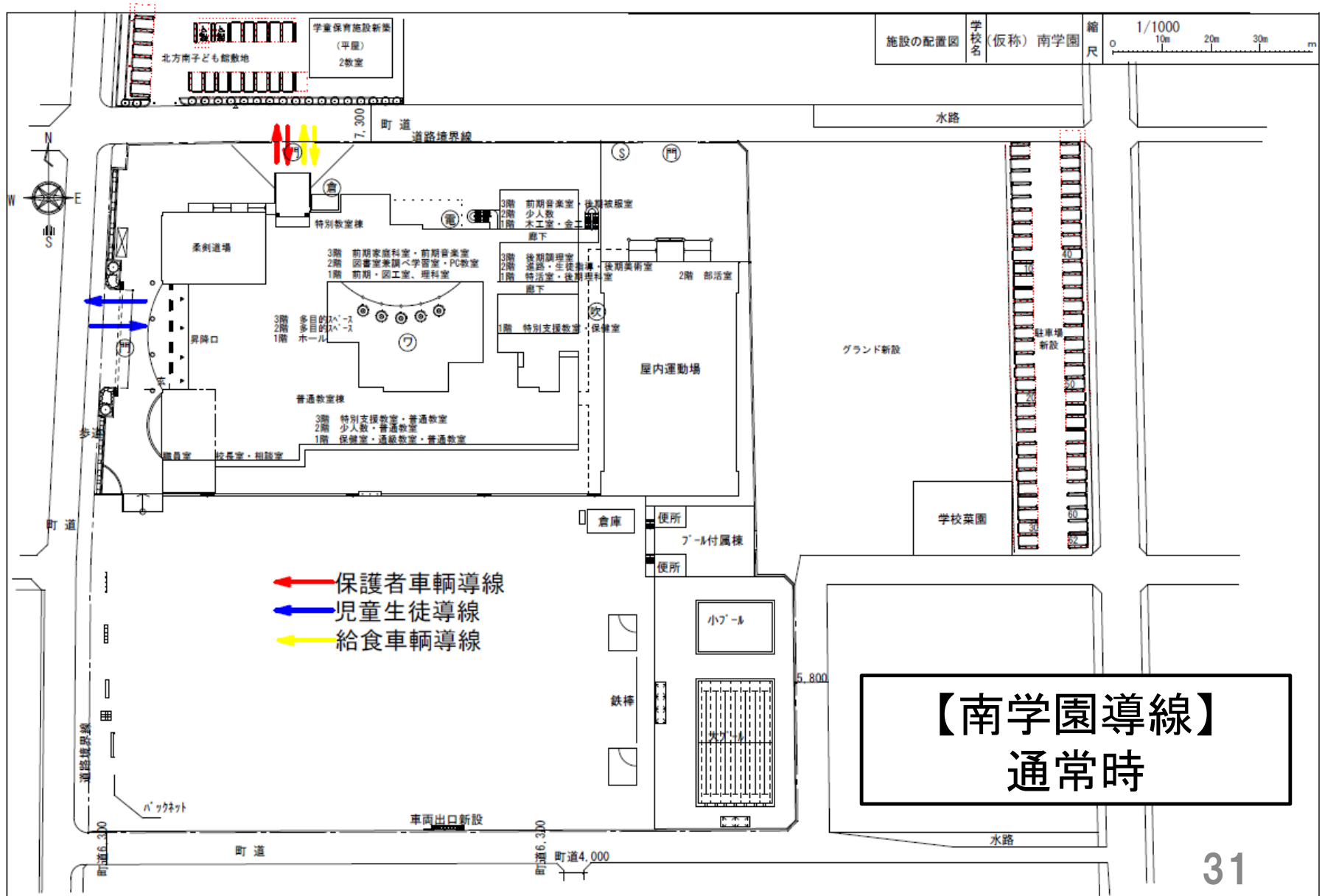
施設

【北学園導線】緊急時

施設の配置図	縮尺 1/1000	学校名 (仮称)北学園	所在地 (都道府県)(市町村) 2 1 4 2 1	学校 ()	設置年度 ()
	0 10m 20m 30m m				



施設



財政計画

【施設整備費用について】

学園構想の施設整備にかかる費用は概ね26.5億円を想定しています。その財源として国庫補助金や町債を活用しながら、財政調整基金からの繰入金などを充当することにより、町財政への過重な負担とならないように配慮します。

なお、安全面への配慮など、学校運営に必要不可欠な施設は確実に整備する必要があるため、今後詳細な設計が進み、順次工事を進めていく予定です。

また、仮に現在の学校体制を現状のまま維持することとした場合、学園構想により削減が見込まれる施設維持管理経費（北方西小学校、町立幼稚園、中保育園と想定）約32億円が今後30年の間で必要になると推計されます。（北方町公共施設等総合管理計画より）



財政計画

【施設整備費用について】

○北方学園構想にかかる資金計画（総額26.5億円）

工事費用の概算

・北学園	1～4年生教室・管理棟新築（旧北小東舎＋管理棟）	10.2億円
・北学園	外構工事	0.7億円
・北学園	旧北方中管理棟改築（図書館等）	0.6億円
・北学園	旧北方小管理棟・東舎解体	1.0億円
・南学園	後期課程特別教室棟増築	3.7億円
・南学園	柔剣道場・後期課程教室等改修・職員室拡張	1.5億円
・南学園	運動場拡張	0.4億円
・こども園	園舎新築	1.2億円
・こども園	旧北方小北舎改築	0.6億円
・給食調理場	調理場建設	6.6億円

合 計 26.5億円

財政計画

【施設整備費用について】

・学園構想を実施せず、現在の体制を30年間維持することとした場合に必要となる経費の試算（北方町公共施設等総合管理計画より）

○施設の大規模改修費用

$$\begin{array}{r} 8,690 \text{ m}^2 \\ \text{(西小+幼稚園+中保)} \end{array} \times \begin{array}{r} 17 \text{ 万円} \\ \text{(大規模改修単価)} \end{array} = \underline{\text{約 } 14.8 \text{ 億円}}$$

○施設の運営経費（人件費除く・R1予算ベース）

$$\begin{array}{r} 17,984 \text{ 千円} \\ \text{(西小)} \end{array} + \begin{array}{r} 23,277 \text{ 千円} \\ \text{(幼稚園)} \end{array} + \begin{array}{r} 16,146 \text{ 千円} \\ \text{(中保)} \end{array} = 57,407 \text{ 千円}$$

$$57,407 \text{ 千円} \times 30 \text{ 年} = \underline{\text{約 } 17.2 \text{ 億円}}$$

小計 約32億円

財政計画

【工事費用の財源見込】

・国庫補助	3.5億円	
・町債	19.0億円	
・一般財源（財政調整基金）	4.0億円	合計 <u>26.5億円</u>

工事費用の財源は国庫補助、町債及び一般財源となります。国庫補助に関しては、小中学校新增築に関する国庫負担金、学校施設大規模改修に関する国庫交付金などが見込まれます。実際の交付申請にあたっては、国・県の財政状況などにも影響されるため、なるべく有利な条件での補助が受けられるよう県担当課などとも緊密な連絡調整を図っていきます。

なお、町債を19億円（5年据え置き25年返還）とすると、元利均等の償還額はおよそ年8,300万円となります。その場合、実質公債費比率への影響（概算）は約2.6ポイントと想定されます。北方町の実質公債費比率は10.7%（H29決算）ですので、その他の借入が無い場合、ピーク時には13.3%になるとおられます。

国庫補助金及び町債以外の資金は一般財源から充当することとなります。その際には、財政調整基金からの繰入が想定されます。

財政計画

【工事費用の財源見込】

(参考) 実質公債費比率の推移

単位：%

H25	H26	H27	H28	H29
10.5	10.8	11.2	10.9	10.7

(参考) 財政調整基金残高の推移

単位：百万円

H25	H26	H27	H28	H29
1,898	1,922	1,454	1,427	1,269

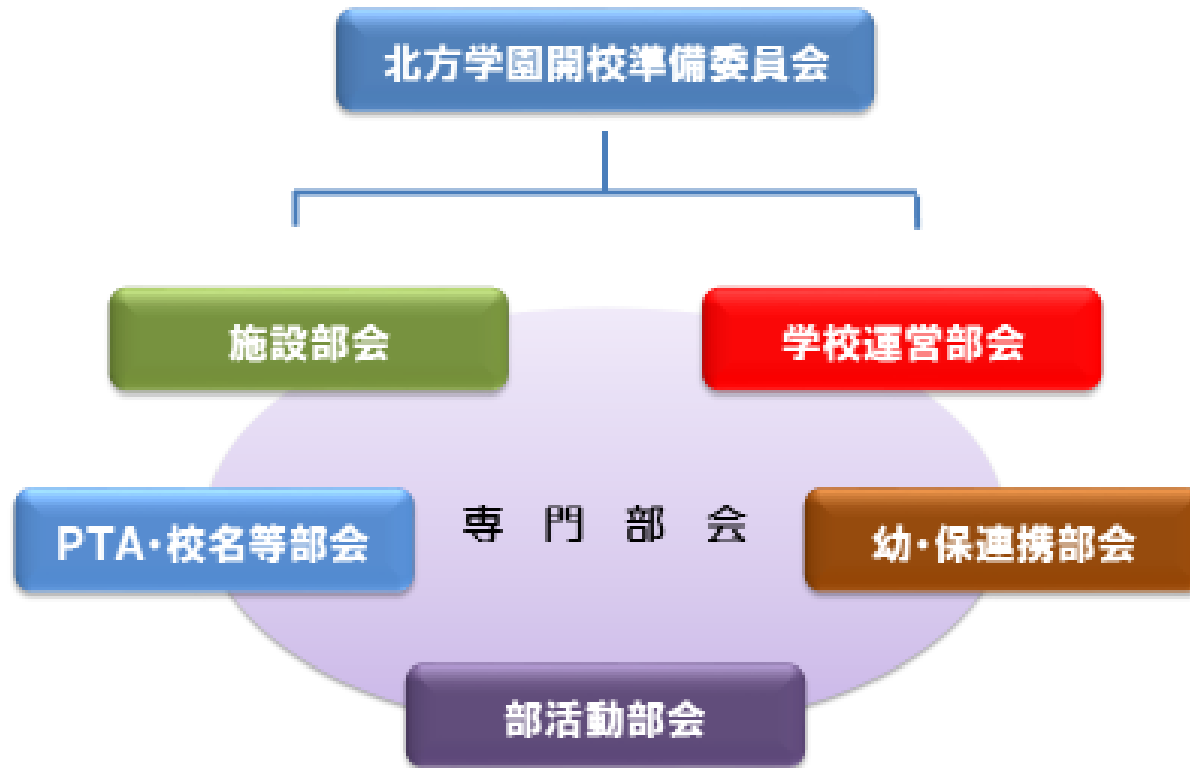


※実質公債費比率とは

地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率。借入金の返済額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標である。18%で注意すべき水準、25%で地方債許可団体（借入の際に国・県の許可が必要）、35%で公共事業の許可制限団体（夕張市のみ）となる。

今後の進め方

【開校準備委員会の設立】



北方学園開校までに詳細を協議・調整していく組織として「北方学園開校準備委員会」を創設します。また、その下部組織として5つの専門部会を置きます。

なお、開校準備委員会や専門部会の協議の際には、委員以外の教員WGや保護者・PTAからの意見なども踏まえて協議を行います。

今後の進め方

【開校準備委員会と専門部会の役割】

○開校準備委員会

北方学園構想基本計画に基づき詳細な内容について協議・決定します。原則として町は決定内容に即して事業を進め、必要な予算措置を講ずることとします。

協議する内容については各専門部会において案をとりまとめ、各部会長から検討内容を報告、準備委員会です承・決定するという方式とします。また、複数の部会に影響があるような案件は準備委員会において調整し、その後必要に応じて専門部会にて検討内容を修正します。概ね年2回（中間報告、年度末報告）の開催とします。

○専門部会

実務的な内容を協議・検討し、方針案を作成します。検討内容ごとに5部会（施設部会、学校運営部会、PTA・校名等部会、部活動部会、幼保連携部会）を設置します。まずは部会として検討すべき項目やその時期を洗い出し、その内容に応じて部会としての協議日程を決めます。

部会として検討した内容は、開校準備委員会にて報告し、了承を得ることとします。また、他部会との調整が必要な事項等については開校準備委員会にて協議を行い、委員会としての方向性を定めます。なお、検討内容によっては必要に応じて部会の共同開催を行うことも可能とします。

今後の進め方

【開校準備委員会と専門部会の委員】

委員の選任については、開校準備委員会は関係団体等から広く人選することとし、専門部会はそれぞれの協議内容に応じた人選が必要となります。その点を十分に勘案して選任します。

○開校準備委員会

学識経験者、県教育委員会、自治会連絡協議会、学校運営協議会、町議会、PTA、小中学校長、保育園長、町教育委員会ほか関係各課

○専門部会

教員、PTA、自治会連絡協議会、部活動指導員、保育士、町職員ほか



今後の進め方

【専門部会の協議内容 1】

施設部会

必要な施設や工事の管理調整

学校運営部会

学校方針・教育課程等の検討

(施設部会)必要な施設や工事の管理調整

普通教室・特別教室の配置と必要数、トイレ・保健室等の改築・整備、ICT設備、会議室・小集会スペース、昇降口・職員通用口の場所と動線（子ども・教員・来客）、校門・駐車場（教員・保護者の車の動線）、運動場、テニスコート（部活動対応）、農園、プール、フェンス・植栽(外構)、工事の進捗管理、工事中の諸調整（教室・設備移動、子どもの動線・安全配慮）

(学校運営部会)学校方針や行事・教育課程等の検討

教育目標、教職員組織、学年区分（4－3－2など）、学習指導計画、教育課程、時間割、学校行事、児童・生徒会、生徒指導方針、縦割り活動、閉校式、開校式

今後の進め方

【専門部会の協議内容 2】

PTA・校名等部会

PTA組織・運営、校名等の選定

部活動部会

部活動のあり方等の検討

幼・保連携部会

こども園設備・運営の検討

(PTA・校名等部会)PTA組織の構成、運営方法等の検討、校名等の選定

既存組織の改変、組織の構成、活動内容、加入方法、地域連携、会費、学校との連携

校名・校歌・校章の決定方法等、制服、体操服、かばんなど学用品の決定方法
他校事例の研究、保護者の意向調査など

(部活動部会)部活動組織のあり方・南北連携の方法等の検討

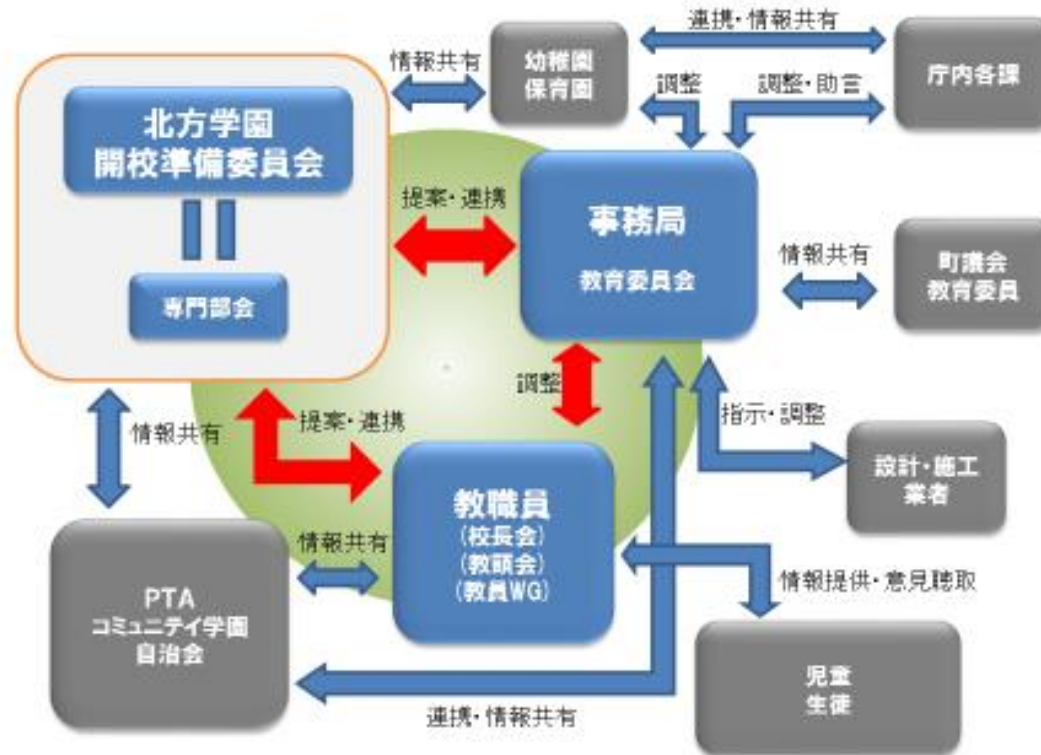
部活動組織とジュニアクラブの関係、実際の活動方法とその内容、南北の連携、共同部活・統一チーム、指導者の活動内容・役割分担（社会人コーチ、部活動指導員、教員）、必要な施設に関する施設部会との調整

(幼保連携部会)こども園の施設整備・運営、幼稚園・保育園の再編等の検討

こども園施設(教室、園庭)等の検討、園の運営方法、教員の組織、教育方針、指導計画、教育課程、日課、行事、保護者組織

今後の進め方

【開校準備委員会の位置づけ】



今後、北方学園構想を進めるにあたっては、開校準備委員会と事務局及び教職員が中心となり、連携して緊密な情報共有・連絡調整を図ります。また、それぞれ関係する団体との意見交換や情報共有をしながら具体的な協議を進めていきます。

